

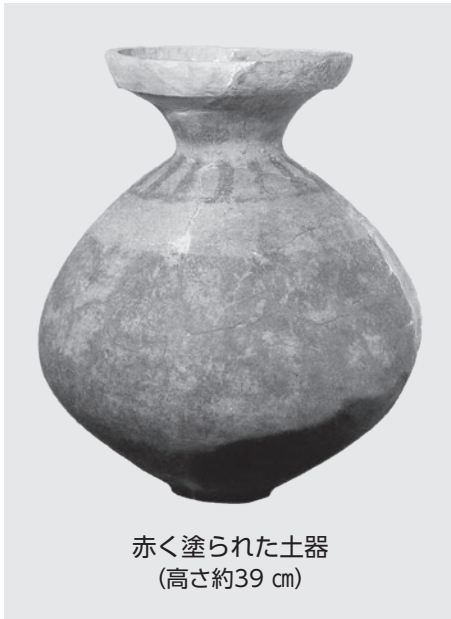
発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

第21回 赤く塗られた土器

うばがみいせき
— 姥神遺跡(奥原町) —



赤く塗られた土器
(高さ約39 cm)

姥神遺跡は、昭和63年、平成元年に工業団地造成事業に伴って発掘調査が行われ、赤く塗られた土器が見つかりました。この赤い色は、ベンガラという天然の顔料が使われたと考えられます。ベンガラの主成分は酸化第二鉄で、いわゆる赤さびです。天然にある赤鉄鉱という鉱物を砕いて粉末にし、顔料にしたと思われる。ベンガラは、縄文時代から使われている顔料で、土器や埴輪に色を塗ったり、装飾古墳の石室内の文様を描いたりしました。赤い色は、神聖な

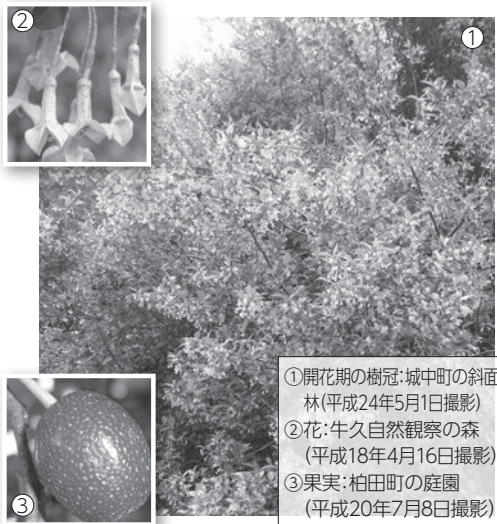


色として魔除けや祭りなどに使われたと考えられています。姥神遺跡の赤く塗られた土器は、古墳時代前期(3〜4世紀)のお墓から発見されており、死者を弔う儀礼で使用されたと思われる。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

第56回 ナツグミ



①開花期の樹冠:城中町の斜林(平成24年5月1日撮影)
②花:牛久自然観察の森(平成18年4月16日撮影)
③果実:柏田町の庭園(平成20年7月8日撮影)

グミ科グミ属の落葉小高木で高さ2〜4m。本州関東地方から静岡県西部への低地から山地帯下部に生育しています。市内では斜面林縁などに自生し、旧家の屋敷に古木が見られます。葉は長さ7〜8

文芸さろん | 葉月 |

雨の中朝顔咲いてほっこりと
せせらぎの流る、音や虫とぶ
ピカッゴロおへそ隠して蚊帳のなか
瓜の蔓直しても又宙を恋ふ
散水のホースの先に虹いく重
短いな孫は来るのか夏休み
暮れなずむ山間の村茄子の花
稲妻が光る空から降る雨は
田んぼの稲の実り豊かに
とうもろこしを前足で押さえ
かじるといふ猫の話聞き居て楽し
匿名希望

月田さん
宮崎さん
長沢さん
高階さん
和多田さん
ひとしくん
秋穂
わだちゃん

【次回募集テーマは「秋」】

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
[E]kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿いただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。

cm、幅2〜4cmの楕円形で表裏両面に銀色の鱗片があり、さらに裏面には黄赤褐色の鱗片が散生しています。花は4〜5月に咲き、花柄は細く、長さ8〜12mmで下垂し、花後に伸長します。花の外側には銀色の鱗片があります。果実は、長さ2.5〜5cmの果柄に垂れ下がってつき、広楕円形で長さ12〜17mm、5〜6月に紅熟します。渋味が少なく食べられます。栽培用のダイオウグミ(俗称ビククリグミ)はこの変種です。※牛久の里山樹木ハンドブック42ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会
(文章:石川満夫、写真:①②渡辺泰、③宮澤晴)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)